

西国巡礼慈悲の道

西国第二十五番

御嶽山

播州

清水寺

西国三十三所のいろいろな観音さま

山主 清水谷善英

観音霊場三十三所のお寺の御本尊はいずれの寺院も『観世音菩薩』です。

親しみを込めて誰もが「かんのんさま」と呼んでいます。この観音さまには七種有ります。

先ず『聖観音』は人々の苦しみを救う根本七観音の基本です。

次に『十一面観音』ですが、頭の上に阿弥陀如来を中心に十一の面があり、人々のよろこび（慈悲面）、

いかり（瞋怒面）、かなしみや嫉妬（狗牙上出面）、あきらめの大笑い（暴悪大笑面）などがあり、苦しみを救い、願いごとを叶える力を秘めた観音です。

次に『千手観音』ですが、詳しく言うと十一面を付けて、千の手のそれぞれに目を付けておられますので「十一面千手千眼観世音」と言います。「千」という

のは広大無辺な大慈大悲の意を表すものです。左右に

四十二の手持ち、延命・滅罪・除病の功德があります。千手というのは四十二の手の一つ一つに二十四の功德があるためです。

つぎに『如意輪観音』ですが、如意とは「思いどおりになり、喜びのために心をうばわれる」などの意味があります。如意輪観音は宝珠と宝輪をもつて、人々の願いをかなえる観音です。顔を右にかたむけ、思惟の相を示しています。如意宝珠と宝輪を持ち、「衆生済度」を示しています。五つ目の『准胝観音』は除災・延命・子宝・除病を祈る三眼で十八手持ち女性尊です。

六つ目の『馬頭観音』は忿怒の相で怒りのはげしさ

により、人びとの苦しみを救う力をしめす観音です。煩惱を断じる功德があります。

最後に『不空罽索観音』は失敗することなく、迷いの海にある人びとをもれなく救う観音です。罽索は網のことで、大悲心（大きな網で）で我々生きとし生けるものを済度して落とさない意味です。ご本尊さまのお名前と、いずれの観音様かを確かめながら、西国巡拝を続けられれば、きつところ豊かな毎日を送ることができま

西国第二十五番

御嶽山 播州

きよみずでら
清水寺

天台宗

御本尊／十一面千手観世音菩薩 開基／法道仙人

あはれみや

あまね かじ しなしな
普き門の品々に

なにをかなみの

きよみず
ここに清水

観音風光

西国三十三所観音霊場の寺院の場所は、三分の一の十一カ寺はお山の頂上であり、三分の一は谷間にあり、あとの三分の一は里や街の中にあるといわれております。一度分類して思い出していたくのも、よい思い出になると思います。

当山からは湿度の低い日には明石海峡大橋も見えます。

二十五番の観音さまはこんなに見晴らしの良い場所にいらつしやいます。

主な年中行事

元旦

初詣・修正会

四月第三日曜日

無縁経法要・鴨川桜まつり

五月五日～八日の最後の休日

仏生会（月おくれ花まつり）

八月十三日～十五日

お盆精霊会

八月二十六日（旧暦七月二十六日改め）

二十六夜待法要

毎月第三日曜日（二月～三月は休み）

朝粥会（説経と止観座禪）

午前六時開始
社会活動

毎月第二土曜日午後二時三十分～五時

愛和会

（学校に行けない子どもと共に歩む父母の会
ボランティア参加の臨床心理士の先生を囲んで

〒673-1402 兵庫県加東市平木1194

TEL 0795-45-0025 <http://kiyomizudera.net>

納経時間 午前8時～午後5時

（但し午後4時30分までに登山口をお通りください）

仏教用語一口解説

不瞋恚とは

「自分の思うとおりに為らないと憤り、恨むことをしてはならない。」という意味。「キレル」という言葉をよく聞きます。いつも機嫌の悪い人、他人の失敗を責める人、謝っているのに何時までも許せない人など、周囲にもきつといらつしやるはずです。その人を見ているのも嫌な気持ちになりますし、傍にいるのも嫌になるものです。そんな人には友達もできないかも知れません。他人のことを理解し、許してあげる広い心を持つことが大切なのです。

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。